

『これからの5年を考える』

小松原地区社会福祉協議会 会長 川路 豊子

私達は計画スローガンを「笑顔であいさつ!夢づくり サンシャイン小松原」として、住み慣れた地域で誰もが心豊かに生活できるために、地域が抱えるさまざまな課題の解決に向けて連携・協働して、福祉事業に取り組んでいきます。

小松原地区社協 これからも続けていきたい活動

在宅介護者のつどい

年2回程度、在宅で介護をされている方が、他の参加者と共に日頃の思いを共有し、介護の疲れやストレスをリフレッシュできるよう開催されています。地区内の専門職も参加し、介護についての悩みや相談に対しアドバイスできる機会にもなっています。



いきいき90歳写真展

地域で元気に暮らしているその年90歳になられる方のご自宅を訪問してお写真を撮り、地区まつりで展示し、写真をプレゼントするという事業です。写真展に来られた方々に元気を与えると共に、被写体となった90歳の方々の外出のきっかけにもなっています。



買い物支援サービス (わくわく♥ワゴン)

志比田町管内にお住まいの日常的に自分で買い物に行くことが困難な方を、定期的にお店まで送迎する事業です。送迎の車両及び運転手は「社会福祉法人まりあ」さんにご協力をいただき実施しています。今後は志比田町だけでなく、他の社会福祉法人にもご協力をいただきながら、小松原全域でサービスを提供できることを目指しています。



子どもサロン活動支援

夏休み期間に、小松原地区内の複数の自治公民館にて行われている子どもサロンの支援を行っています。地域の方々の協力のもと、子どもたちは宿題や工作などを行い、楽しく過ごしています。これからも「子どもたちを地域で支える仕組み」として、多くの自治公民館で実施できるよう支援していきます。



小松原地区スローガン
**笑顔であいさつ!夢づくり
サンシャイン小松原**

【基礎情報】(R2.5.1)

人口規模 (住基人口)	全 体	10757 人	世帯数	5670 世帯
	男 性	5048 人	自治公民館加入世帯	2429 世帯
	女 性	5709 人	自治公民館加入率	42.8%

【小松原地区の現状・課題】計画策定作業と「地域福祉に関するアンケート調査」結果より

- 公民館の未加入世帯。加入していても行事等の参加率が低い
- 公民館に入っていない人は情報が回ってこない
- 高齢者の一人暮らし世帯増加。サービスについての情報を伝えたり、寄り添う人・傾聴する人が必要
- 民生委員がいない地区は特に福祉が必要な人が見落とされている
- 家庭の状況を隠そうとするので、見えない・分からない家庭がある
- 空き家が増えてきている
- こけない体操など、同じメンバーが来るので新しい人が入りづらい。男性も参加しづらい
- 地域の様々な人が集える憩いの場の創設や見守り体制の構築
- 食べ物をちゃんと食べられているか、心配な子どもがおり、支援が必要。夏休みに子どもサロンを行っているが、通常でやるのはどうか
- 子どもの地域性は地域が育てていく必要がある。学校だけでなく、地域で子どもを見守り、育てる
- OPTA がなくなるかもしれない問題が浮上している。コロナ禍で集まれず活動を見せられず、難しい運営を強いられている
- コロナでこけない体操がなくなり、一ヶ月で歩けなくなった人がいる。そういう人が今後益々増えてくると思う
- 自粛が長引くと、福祉の必要な人たちが見過ごされてしまう懸念がある
- 水害、地震など災害の認識が薄く、緊急時の避難先の周知がされていない
- 台風等で避難をする前に、避難状況を確認するため、班長や館長に連絡を入れてほしい
- ハザードマップを配布していても見ない人が多い
- せっかくのサービスや制度を知る機会がない
- 行政が動くのが難しいところは、社会福祉法人に協力を仰いだり、自治公民館単位でボランティアを結成したり、地域でできることを考える

小松原地区地域福祉活動計画

(計画実施期間・令和3年度～令和7年度)

計画スローガン (大項目)

笑顔であいさつ！夢づくり サンシャイン小松原

中項目	小項目	具体的な取り組み内容
1 小地域 (自治公民館単位) での福祉活動の充実と関係機関団体との連携協働できる地域づくりを目指します (地域づくり)	1- ①これまで取り組んできた事業をさらに充実させていきます	継続) ・いきいき 90 歳写真展の開催 新規) ・買い物支援サービスを小松原全域に広げます 継続) ・子どもサロンの各自治公民館への拡充 継続) ・在宅介護者のつどいの充実
	1- ②地域課題に応じたサロン活動を新設、支援します	新規) ・各自治公民館単位で集いの場・憩いの場づくりに取り組みます (子どもサロン、高齢者サロン、三世代サロンなど) 新規) ・男性が参加しやすいサロンを作ります (料理教室など) 継続) ・ふれあいいきいきサロン活動の充実、強化
2 多世代のボランティア育成のため事業を充実していきます (人づくり・つながりづくり)	2- ①ボランティア育成に取り組みます	新規) ・傾聴ボランティア、寄り添うボランティア研修の実施
	2- ②災害が起こった時に、地域に住む人が誰ひとり取り残されない見守り体制づくりを推進します	新規) ・防災・防犯研修の充実 新規) ・各自治公民館単位での防災学習会
3 様々な関係機関・団体が協議できる場づくりに取り組みます (協議の場づくり)	3- ①地区内の関係機関・団体等の連携を図ります	新規) ・地区内関係機関団体 (地域・施設・学校等) 意見交換会の実施 (小松原地区地域福祉座談会)
	3- ②様々な福祉課題を協議できる場をつくります	新規) ・ケース検討会の実施
4 地域住民の困りごとに対応できる組織体制づくりを目指します (しくみ・体制づくり)	4- ①広報PR活動を強化します	継続) ・広報紙、事務局チラシの発行 新規) ・積極的に集いの場に出向いての広報活動 新規) ・「地区社協」という略称を、もっと親しみやすい名称に